

心の窓



校訓：かしこく やさしく あかるく つよく

令和4年2月25日（金）

南関町立南関第四小学校 学校だより

No.42

文責：松永 尚子

今年度最後のクラブ活動でした。

2月18日（金）、今年度最後のクラブ活動をしました。この日は、3年生がクラブ活動の見学もしました。クラブ活動は、自分の好きなことについて考えて希望して決めていきます。異学年集団で、自分たちなりに計画したり協力したりして活動することで、学級での学びとは違った自主性や社会性を育むことができます。年間6回と活動の時間は短いですが、みんなで楽しく活動しています。3年生のみんなは、4・5・6年生の活動の様子を見学しながら、「ぼくは、ものづくりが好きだから、ものづくりクラブがいいな」とか「私は、パソコンやタブレットを使っていろいろな絵を描いてみたいから、パソコンクラブがいいな」など、いろいろと考えて、来年度自分が入りたいクラブを決めようとしていました。活動をしている上級生もとても優しく教えてくれていました。



科学クラブです。今日はアルミホイルとビー玉でおきあがりこぼしを作ります。簡単にできるんですよ。やってみてください。

パソコンクラブです。今日は、タブレットを使って絵を入れてメッセージカードを作っています。カラーで印刷すると、すてきなカードになるよ。



ものづくりクラブです。折り紙などいろいろな作ります。とっても楽しいです。

スポーツクラブです。今日はドッジボールをします。3年生も入ってください。体を動かすのが好きな人、みんなで楽しみましょう。



「みんなのため」が「自分のため」

2月もあと数日で終わり3月に入ります。今日は、各学級で懇談会が行われました。たいへんお世話になりました。この学年で、この教室で過ごすのも、あと20数日。今の学年の学習のまとめをしっかり行って、次年度を迎えたいと思います。

今日は、協力について考えるお話を載せます。「あるところにあまり人気のない温泉町がありました。それぞれの旅館が、自分のところにお客をよびたくて勝手に看板を立てるので、いい景色が台無しになり、ますますお客が来ませんでした。そんな中、1軒だけ行っていた旅館のご主人が、自分のやり方を全部教えるから、競争をやめ、木を植えたり露天風呂をつくったりして町を盛り上げようと呼びかけました。」この人は、自分の旅館さえお客さんが来ればいいという考えではなく、温泉町全体がよくなるのが大事だと提案したわけでした。その結果、その温泉町の旅館全部が、数か月先まで予約がいっぱいになったのだそうです。つまり、みんなのためになるように考えたことが、結局は自分のためにもなっていたのです。

子どもたちは、学校生活の中で、たくさんの人と関わりながら、さまざまなことを学んでいきます。四小のみんなが、「四小をよくしよう」「学級をよくしよう」と思って生活や学習をがんばることが、自分を伸ばすことにもつながります。今の学年でのあと1か月、一日一日を大切に、元気で楽しく過ごしてほしいと思っています。



第3回「ノーメディア週間」、お世話になりました。

2月11日（金）～17日（木）まで、ノーメディア週間でした。取組へのご協力ありがとうございました。今回は、第2回目ときよりも、学習時間を設定して守ること（4～6日）、就寝時間を守る（毎日）、ノーメディア（毎日、4～6日）が、かなり達成できていました。児童の感想には「ゲームの時間を決めて守れたからよかった」「ゲームの時間が減り、寝る時間も早くなったのでよかった」などの感想がありました。また、保護者からは、「毎日、お手伝いをたくさんがんばってくれました」「ゲームやテレビでなく、工作に没頭していました。いい経験となりました」「今回はいつもよりノーメディアを意識できた週間でした」「自分から進んで『お手伝いがない？』と聞いてくれました」などの感想がありました。ご家族みなでメディアのことやお手伝い、挨拶、学習などについて考えていただき、たいへんありがとうございました。

